

# かわむらこどもクリニック NEWS

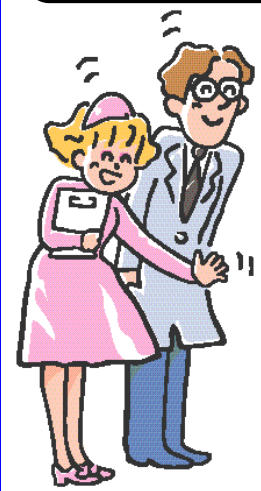
Volume 5 No 08

49号

平成9年 8月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu/k/>

## 4年目の反省



院長  
5～7月までは予防接種が大変多く、皆さんには御迷惑をおかけしたと思います。先日あるお母さんに電話での対応について不愉快な思いをしたことを指摘されました。お母さん曰く「この病院にこれからも来たいと思うので、しっかりとっておきます。」とのことでした。この御意見ありがたく頂戴し、早速反省会を開きました。連日予防注射が、

30人以上となったため事務のスタッフもパニックに陥ってしまったとのことでした。その後も健診などで見ていると、7月の予防注射に限って他の病院でしている方も何人がいらっしゃいました。このお母さんたちも口には出していなくても、不満があったのだらうと反省しています。そんな思いをしたお母さんたちがいれば、この場を借りて御詫言します（院内掲示に示してあります）。これは一人の責任ではなく、事務、看護婦及び小生含めクリニック全体の責任と感じています。今後はこのようなことが無いように、努力していくつもりです。

ここで少し患者さんの立場と病院の立場のギャップについて考えてみます。ギャップを少なくする努力をしていますが、現実にはなかなか埋められません。「待ち時間が長いのはいやだが、ゆっくり話を聞きたい」「他の子よりうちの子の具合が悪いので、早く診て欲しい」「薬をもっと長く欲しい」「予防接種や健診を望む日に行って欲しい」などは、お母さん方の

希望です。しかしその多くは、現実には物理的になかなか難しいものです。待ち時間については以前も書いたように予約制というのがあります。これにも反対の意見が多く、実施できないでいます。薬に関して考えると、こちらの希望として「具合が悪くなる前に、もっと早くつれてきて欲しい」ということになってしまいます。病気はお母さん御都合に合うわけではありません。子供のことを第一に考えれば、今の様に3日程度となってしまうのです。2日しか薬を貰えない病院の患者さんは、よく診てもらえてありがたいと思うこともあるのです。

今回のことで反省したのですが、健診や予防接種はお母さんにとって、われわれが思っているより大きなことのように思っています。もちろん今までもそう思っていました。例えば三種混合の2回目を他院で接種して、3回目を当院で接種することは、そのことをよくあらわしています。当院を気に入っていたとしても、予約が入らなければ、予防接種を待ってられないのでしょうか。途中で他の病院に移れば、その後来なくなるのが普通なはずですが、本当にありがたいと思えました。このことをいい教訓にして、今まで以上に努力していくつもりです。

コミュニケーションの大切さを再確認しました。言わなければ、わからないことはたくさんあります。診療や予約で言いたいことは、しっかり言って下さい。またこれを機会に、多くの投書をお待ちしています。こちら側からのコミュニケーションの方法としての新聞であり投書箱なので、多いに利用して下さい。

## 夏の予防接種について

以前は真夏（酷暑の時期）は予防接種をしないとされていましたが、予防接種法の改正から接種できることになりました。三種混合など定期接種や水痘などの任意接種も含め8月でも接種可能です。遅れた日本脳炎や風疹の接種も行います。詳しくは受付までおねがいします。

## 宮城野区1歳6カ月健診のため

8月26日(火)は14:00～16:30まで

休診となります。



## 夏季休暇のお知らせ

勝手ながら

8月10日(日)～15日(金)

まで夏季休暇とさせていただきます。御迷惑をおかけしますがよろしくお願ひ致します。



## 読者の広場

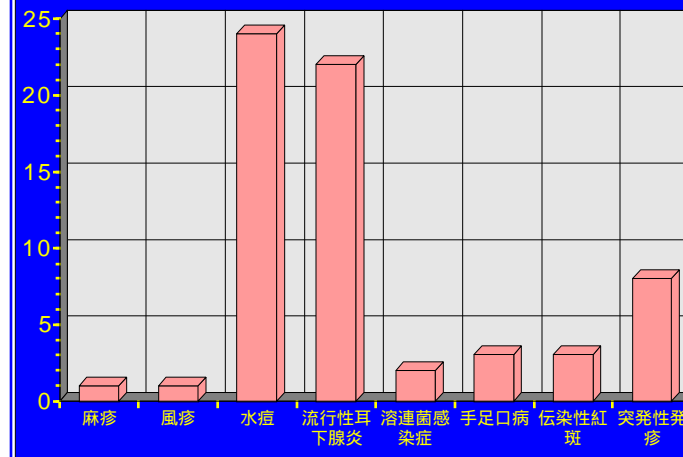
先月は、感染症の流行だけでなく予防接種や健診の混雑で御迷惑をおかけして申し訳ありません。このことは皆さんも感じていたようで、投書がありましたので紹介します。「- お世話になっています - 最近待ち時間が長いことが気になります。看護婦さんの方が、順番待ちの時に症状や質問をきくなど配慮されるとうれしく思いますが、いかがでしょうか。長々と話す患者さん側にも責任ありますけど...。あきひろのママより」全く御指摘のとおりだと思います。看護婦の中米君が産休に入り、なれないスタッフだったことも関係していたかも知れませんが、今後はそのようにしていきたいと思ひます。8月は例年患者さんの少ない月です。そんな時には長々と話して行って下さい。

熱性痙攣を経験したお母さんからお手紙を頂きましたので紹介したいと思います。「この度は がお世話になり本当にありがとうございました。(略)呼吸が止まり真っ青な顔をしているところを目にして私の不安はピークに達し、思わず119番をしました。救急隊の病院では、ひきつけ止めの坐薬をもらったもののあまり説明はなく、私は不安を抱えながら家に戻りました。その晩は全く眠れず、翌朝に川村先生にひきつけのことをお話ししました。先生は私の話しも不安な心もよく理解して下さい、丁寧に熱性けいれんについて説明してくれました。私は実家も親戚もみな東京なので、先生のお言葉でどんなに安心したことが...。(略)の熱も下がり落ち着いたところで、いただいた新聞を最初から拝見させていただきました。何だかとても感動しています。先生の人徳でいつも人がいっぱい病院なので、診察だけでも忙しいはずなのに、こんなにいっぱいの情報を載せた新聞までも...。本当に尊敬しています。これからも(略)よろしくお願ひ致します。看護婦さんにも、よくしていただき本当にありがとうございました。」便箋2枚にわたる泉区のTさんからでした。こういうことが我々の励みになっているのです。いつも新聞は読まれていないと思ひますが、またがんばって作っていく意欲がわいてきました。本当にありがとうございました。

## インターネットのホームページに関して

7月14日(月)に仙台放送のテレビ番組「ホットチャンネル」に出演しました。ダニエル・カールの日本でのコーナーで、当院のホームページが紹介されました。ご覧になった方もいるかと思いますが、役に立つホームページとして3～4のうちの1つとして紹介されました。また『かわむらこどもクリニック NEWS』がインターネットでそのまま読めるようになっています。インターネットが普及しお母さんたちから時々電子メールをいただきますが、まだまだ一般的ではありません。興味のある方はご覧になって、コンピュータでニュースを読んでみて下さい。将来的には希望の方にニュースをフロッピーディスクで配布することも考えています。

## 7月の感染症の集計



先月は最近になく伝染性の病気が流行しました。水痘はこの程度の流行はありますが、おたふく(流行性耳下腺炎)は開業以来最高の数になっています。河北新報でも流行のことが取り上げられ、MMRワクチン接種が中止されたことを指摘していました。水痘もおたふくもワクチンがあります。流行中の接種は出来ませんが、どちらも1週間程度の休み(隔離)が必要になります。任意ですが接種を考えてみましょう。

グラフには示しきれませんがヘルパンギーナも大流行で、先月だけで100人以上となっていました。夏かぜの流行の時期で、手足口病やウイルス性発疹症(診断が出来ない発疹や熱の出る病気)も増加傾向です。

他の地域(仙台市の東部)では麻疹が流行中で、今回の一人も休日当番の時東部の方でした。

## 臨時休診のお知らせ

日本外来小児科研究会(東京)が、8月30日～31日まで開催されます。

学会参加のため30日(土)は休診となります。御迷惑をおかけしますが、御協力お願ひ致します。

## 編集後記

先月はスタッフ問題などいろいろあって、落ち着かない月でした。やっと患者さんも減ってきて楽な8月になりそうです。夏休みでリフレッシュしてまた秋に備えたいと思ひます。

皆さんもよい夏を!!



目次に戻る

前の号

次の号